

ニュービジネスへの取り組みを奨励 —「しがぎん野の花賞」を5社に贈呈—

当行は2月22日、ニュービジネス奨励金「しがぎん野の花賞」の贈呈式を行いました。

同賞は、当行創立70周年(2003年)を記念して創設したもので、今回で11回目となります。当行主催の「サタデー起業塾」受講者の中から、産学官(産産含む)連携によりニュービジネスに取り組まれた事業者や企業を対象に、顕著な取り組みに対して「しがぎん野の花賞」として10万円を贈呈し、新事業や新商品、新サービスへの取り組みを奨励していることへの思いを込めています。

受賞の皆さんからは、「受賞はこれからの励みになります」「今後も地元企業と新たなビジネスを共同開発していきたい」との感想が述べられました。

第1回目からの贈呈先は、累計78先、合計780万円となりました。



大道頭取(右から3人目)から各受賞者へ、賞状などが贈られました

平成25年度「しがぎん野の花賞」受賞先

受賞企業	連携先機関	テーマ
滋賀麻工業 株式会社	株式会社 コクヨ工業滋賀	近江の麻とびわ湖のヨシを使った意匠ノートの共同開発
スターエンジニアリング 株式会社	立命館大学	自己浮上式小水力発電装置に関する研究
ツジコー 株式会社	滋賀県産業支援プラザ 産業技術総合研究所 滋賀県東北部工業技術センター 長浜バイオ大学 株式会社 日本ジー・アイ・ティー	植物由来の機能性成分生成に利用するストレス負荷型装置のデータベース化の研究開発
株式会社 ドリーム・ジービー	東京医科歯科大学 NTT東日本伊豆病院	世界最小最軽量3次元足型レーザー計測システム機器の開発および足型データベースの構築
株式会社 ミュー	龍谷大学 大阪医科大学	高い精度・安全性・生体適合性を有する消化管検査用小型ロボットの開発

*本件の交付金は景品表示法「クローズド懸賞」に該当し、その限度額を順守しています。

「第17回環境コミュニケーション大賞」でダブル受賞 —環境報告書部門 環境報告大賞、テレビ環境CM部門 優秀賞—

当行が2013年10月に発行した「CSRレポート2013 歩みを、共に。」が、「第17回環境コミュニケーション大賞」(主催:環境省、一般財団法人地球・人間環境フォーラム)の環境報告書部門において最高位である「環境報告大賞(環境大臣賞)」を、また、当行のテレビCM「ニゴロブナ・ワタカ放流」篇(2013年7月から放映中)が、テレビ環境CM部門の「優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞)」を受賞し、栄えあるダブル受賞となりました。

「環境コミュニケーション大賞」は優れた環境報告書等や環境活動レポート、テレビ環境CMを表彰することにより、事業者の環境コミュニケーションへの取り組みを促進し、環境情報開示の質の向上を図るものです。

当行では「お客さまと手を携えて持続可能な社会の実現に取り組んでいきたい」との願いから、2001年より環境への取組方針などを記載した報告書を作成しています。特に、今回の「環境報告大賞」では、持続可能な社会の構築に重要な

環境投融資がまだ発展途上な国内において、いち早く環境配慮型金融商品の開発・提供に取り組んだこと、エコビジネスマッチングフェアの開催等を通して社会の環境負荷低減へ貢献・支援し、事業活動の各側面で環境配慮を取り込んだ社会貢献活動等を地道に継続していることなどが、簡潔かつポイントを押さえて記載されていると高く評価されました。



3月17日、表彰式が東京のホテルで開催され、牧原秀樹環境大臣政務官から大道頭取に表彰状が贈られました